



国土交通省

中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
Chugoku Regional Development Bureau

## お知らせ

記者発表資料

平成 25 年 4 月 3 日

- 同時発表先：合同庁舎記者クラブ  
鳥取県政記者会  
島根県政記者会  
岡山県政記者会  
広島県政記者クラブ  
山口県政記者会  
山口県政記者クラブ  
山口県政滝町記者クラブ  
中国地方建設記者クラブ

### 国営備北丘陵公園管理運営プログラムの策定について ～公園での交流を通じた地域の自然、歴史文化の保存・継承を進めていきます～

#### 【概要】

「国営公園管理運営プログラム」については、国営公園事業の透明化と計画的な執行を図るため、平成 28 年度までの管理運営の方針等を定めたものです。

このたび、中国地方整備局管内の国営備北丘陵公園の「管理運営プログラム(案)」について、平成 25 年 2 月 27 日(水)～平成 25 年 3 月 19 日(火)にかけて意見募集を実施し、皆様からいただいたご意見を踏まえ、「管理運営プログラム」を策定しましたので、ご報告いたします。

#### <問い合わせ先>

中国地方整備局 082-221-9231 (代表)：(平日・昼間)

建政部 都市・住宅整備課長 島村 泰彰 (内線 6161)

【担当】建政部 都市・住宅整備課長補佐 峰 寄 悠 (内線 6162)

#### 【広報担当窓口】

広報広聴対策官 坂本 繁幸 (内線 2117)

企画部 環境調整官 江角 忠也 (内線 3114)

## 国営備北丘陵公園管理運営プログラムの策定について

### 1. 国営公園整備・管理運営プログラムについて

公共事業の推進に当たっては、情報公開に努めるとともに、国民の皆様から公共事業に対する理解を深め、支援を得ていくことが不可欠であるという観点から、全国の国営公園事業について、平成20年度に「国営公園整備プログラム」を策定・公表し、本プログラムに基づき事業を執行して参りました。

そして、今後も引き続き国営公園事業の透明化と計画的な執行を図るため、平成28年度までの整備及び管理運営の方針等に関する「国営公園整備・管理運営プログラム」を策定・公表し、着実な事業の推進を図ることとしております。

なお、本プログラムは、事業の進捗状況などをふまえ、適宜見直していくものです。

### 2. 国営備北丘陵公園管理運営プログラム（案）についての意見募集結果について

国土交通省中国地方整備局では、平成25年2月27日(水)～3月19日(火)にかけて、「国営備北丘陵公園管理運営プログラム（案）」について、広く国民の皆様からご意見を募集しました。

お寄せいただいたご意見と、これに対する中国地方整備局からの回答、対応方針について、別添のとおりとりまとめましたので、ご報告いたします。

### 3. 国営備北丘陵公園管理運営プログラムの策定について

「国営備北丘陵公園管理運営プログラム」を別添のとおり策定いたしましたので、ご報告いたします。

国土交通省中国地方整備局及び三次河川国道事務所のホームページからダウンロード（PDF形式）して頂けます。

- ・ 国土交通省中国地方整備局建政部：<http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/kensei/index.htm>
- ・ 三次河川国道事務所：<http://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/park/index.html>

今回の意見募集にあたり、ご協力いただきました皆様へ御礼を申し上げますとともに、今後とも国土交通行政の推進にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 国営備北丘陵公園管理運営プログラム(案)に関する意見

No	ご意見	ご意見への回答、対応方針
1	1頁の基本テーマで本公園の目的を「人間性の回復と向上」と定めていることを前提とすれば、8頁の事業効果には「国民(あるいは公園利用者、地域住民)の人間性の回復と向上に関する効果」をまず最初に記載すべきではないか。	いただいたご意見を踏まえて、8頁の事業効果の記載を修正しました。
	6頁の「車椅子利用者に適したルートの設定」はバリアフリーではあってもユニバーサルデザインではない。ユニバーサルデザインの意味を確認して修文すべきではないか。	いただいたご意見を踏まえて表現の適正化、取組の追加を行いました。

# 国営備北丘陵公園管理運営プログラム

平成25年3月

国土交通省 中国地方整備局

# 目 次

## 1. 公園の概要

- ① 公園の所在地・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ② 基本テーマ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ③ 開園の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ④ 利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

## 2. 平成28年度までの管理運営方針

- ① 重点事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ② 管理運営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

## 3. その他

- ① 目標入園者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- ② 積極的な広報展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

## 4. 事業効果

- ① 中国地方の豊かな歴史や伝統文化の保存・継承・・・・ 8
- ② 自然環境の保全・活用・循環型社会の構築の推進・・・・ 8
- ③ 連携による広域観光の推進、地域の活性化・・・・ 8
- ④ 地域の担い手の養成・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- ⑤ 安全で安心な公園づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

# 1. 公園概要

## ① 公園の所在地

本公園は、中国地方のほぼ中央部の広島県庄原市に位置し、県内最大のため池である国兼池と緑豊かな丘陵地を有する全国で 11 番目、中国地方では初めての国営公園（全体面積約 340ha）として、昭和 57 年度に事業を開始しました。

周辺には「七塚原高原」や「みよし風土記の丘」、さらには「帝釈峡」などの文化・教養・観光施設があること、また中国自動車道を軸とした高速道路網により各主要都市圏と結ばれていることから、広域的なレクリエーションへの対応に適した場所に位置しています。

【位置図】



## ② 基本テーマ

備北地方のたおやかな景観と風土を生かし、「ふるさと・遊び」を基本テーマに、周辺環境との調和と連携を図り、森と湖に囲まれた緑豊かな自然の中で、地域の歴史・伝統文化とのふれあいや多様なレクリエーション活動を通じて、人間性の回復と向上の場となる公園を目指し、以下の通り公園整備の基本理念を定めています。

【基本テーマ】  
ふるさと・遊び

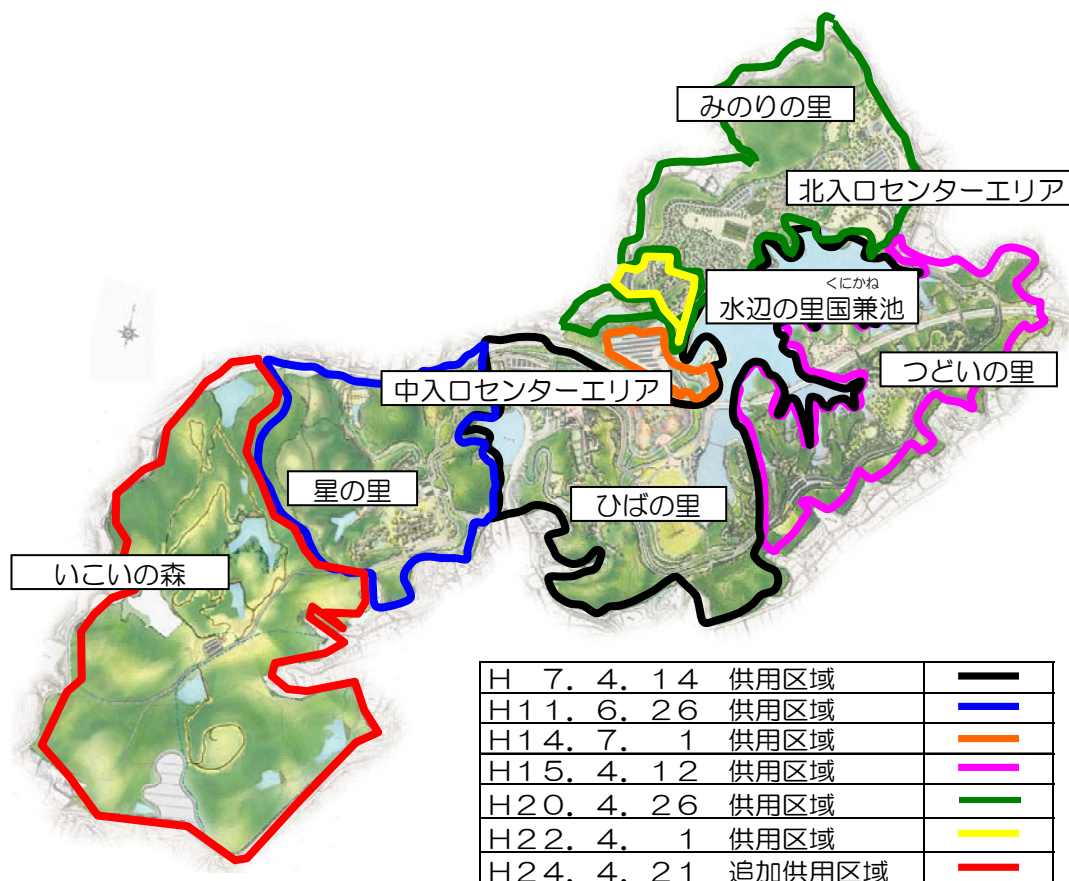
【基本理念】

- ① 緑豊かな自然へのいざない
- ② 中国地方の歴史や文化とのふれあい
- ③ 多様なレクリエーションへのしたしみ
- ④ 周辺環境とのつながり

### ③ 開園の状況

本公園は、昭和 57 年度に事業着手し、平成 7 年 4 月に「中入口センターエリア」80ha を第 1 期開園しました。その後、平成 11 年に「星の里」オートキャンプ場 46.5ha、平成 14 年に第二駐車場 3.2ha、平成 15 年に「つどいの里」49.1ha を追加開園してきました。

そして、平成 20 年 4 月には「北入口センターエリア」および「みのりの里」計 43.3ha を追加開園し、平成 24 年 4 月には「いこいの森」109.3ha を追加開園を行い全園開園となりました。



星の里 オートキャンプ場



中入口センターエリア 花の広場



水辺の里国兼池 カヌー体験



いこいの森 カブトムシドーム



ひばの里 農家

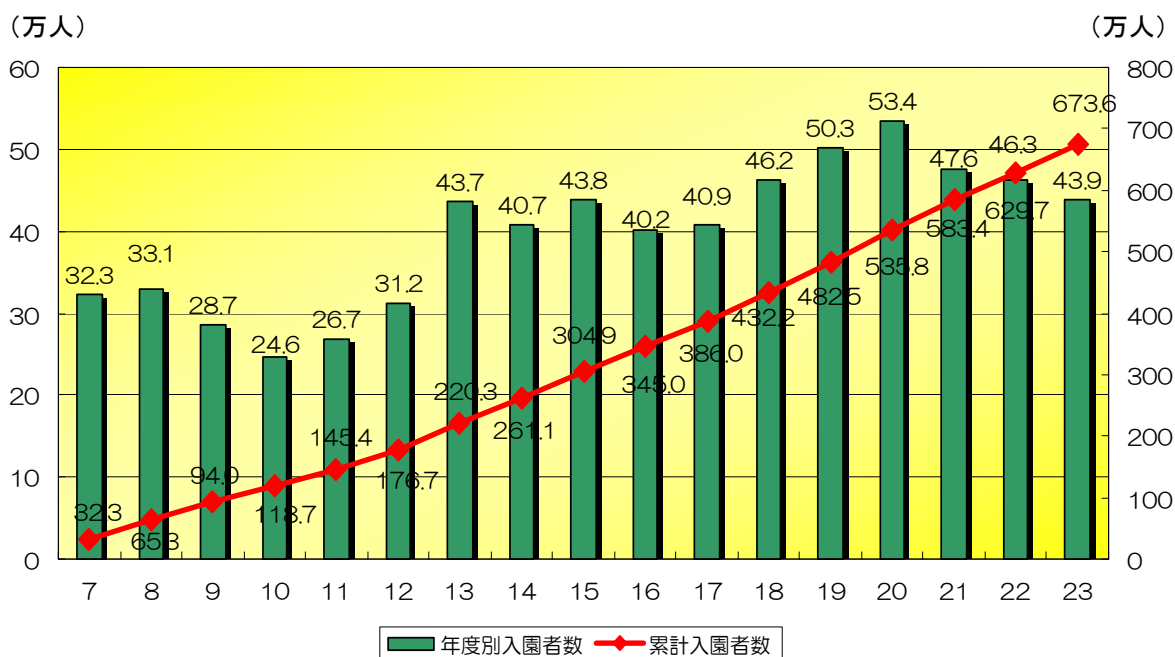


つどいの里 きゅうの森

#### ④ 利用状況

開園当時である平成7年度の入園者数は年間約32万人でしたが、その後の追加開園やニーズに対応した各種イベントの開催等により、現在は年間約50万人の方に利用していただき、平成23年度末で累計入園者数が約670万人に達するなど、中国地方におけるレクリエーション施設として、また観光拠点のひとつとして多くの方にご利用いただいています。

#### 【年間入園者数の推移】



春まつり



野外コンサート



秋まつり



ウィンターイルミネーション



## 2. 平成28年度までの管理運営方針

### ① 重点事項

平成28年度までは、本公園の基本理念を踏まえ、豊かな里山の有する歴史文化、自然を活用し、以下を重点事項として管理運営を推進します。

- 中国地方の歴史文化の保存・継承及び自然環境の保存・活用を図るため、体験学習の場の提供と体験プログラムの充実を図ります。
- 地域との連携や中国横断自動車道の開通による広域観光の促進と地域の活性化に貢献します。
- 協働による公園管理を通じた地域の担い手の養成を図ります。
- 誰もが安全で安心して利用できる公園づくりを進めます。

### ② 管理運営方針

地域の方々や公園の利用者との協働により、誰もが安心して利用できる公園の管理運営を進めます。公園での交流を通じた地域の自然、歴史文化の保存・継承や中国横断自動車道の開通を踏まえ広域観光を推進し、地域の活性化に貢献します。

#### 1) 中国地方の豊かな歴史や伝統文化の保存・継承の推進

- ・ 中国地方の特徴である里山環境ではぐくまれた歴史・伝統文化の保存、継承の取り組みを推進します。
- ・ 中国山地でかつて行われていた古代たたら鉄づくりの再現や古代米づくり、往時の農家の生活などの実演や体験プログラムを充実するとともに、関連する取り組みを行う団体と連携して情報発信を行います。



【国選定技術者・ボランティア等の協力による「古代たたら鉄づくり体験」】



【地元老人クラブの協力による体験プログラム】

## 2) 自然環境の保全・活用と循環型社会の構築の推進

- ・ 貴重な生物種を有する里山の多様な自然環境の保全、活用の取り組みを推進します。
- ・ 国蝶であるオオムラサキをはじめ、多様な動植物が生息・生育できるような自然環境の保全、復元を進めるとともに、学習の場を提供し、環境問題に対する関心を高める取り組みを推進します。
- ・ 公園内で発生したせん定枝や除草した草をチップ化、堆肥化して再利用する取り組みを引き続き行い、循環型社会の構築に貢献します。



【地元小学校と協働で整備した  
ビオトープでの生物調査】



【オオムラサキの保護・繁殖の取り組み】

## 3) 連携による広域観光の推進、地域の活性化

- ・ 中国地方のレクリエーション拠点として、エントランスセンター国兼等において、観光情報の発信や企画展示を行うなど、中国地方の多様な観光資源を公園の利用者に発信するとともに、中国横断自動車道の開通を踏まえた効果的な広報を実施し、広域観光を推進します。
- ・ 庄原市、地元団体、NPO や民間企業など、地域との連携による交流イベントの開催等により、地域の活性化に貢献します。



【庄原市との共催による地域交流イベント  
「さとやま夢まつり」】



【庄原市との共催による地域交流イベント  
「さとやま手作りアートフェスタ」】

#### 4) 協働による公園管理を通じた地域の担い手の養成

- ・ 地域住民や公園利用者等との協働による公園管理を推進します。
- ・ いこいの森散策ガイドボランティアなど、多様な主体が公園づくりに参加できる取り組みを充実することで、参加型の公園管理の仕組みづくりを進めるとともに、地域づくりに主体的に取り組む担い手の養成に貢献します。



【ガイドボランティアによる  
自然観察会】



【ボランティアによる花壇づくり】

#### 5) 安全で安心な公園づくりの推進

- ・ 遊具などの公園施設を対象とした公園施設長寿命化計画を策定し、計画的かつ効果的な施設の補修・更新を実施することにより、ライフサイクルコストの縮減に努めるとともに、利用案内や巡視・点検を適切に行うなど、安全管理を徹底します。
- ・ 車椅子利用者の方も快適に利用できるルートの増設や、日本語及び英語、中国語、韓国語が併記された案内看板を設置するなど、ユニバーサルデザインの考えに基づき、誰もが安全で安心して利用できる公園づくりを推進します。
- ・ 地震等の災害発生時、来園者及び周辺住民の方を受け入れる庄原市の一時避難場所として活用することにより、地域の防災性向上に寄与します。



【障害者と健常者がともに遊べる  
大型複合遊具】



【シルバー・障害者等優先の  
無料園内移動施設】

### 3. その他

#### ① 目標入園者数

国営備北丘陵公園では、来園者の多様なニーズに対応し、四季を通じて多彩なイベントを開催することにより、年間目標入園者数を46万人以上とします。

<p><b>春</b></p>  <p>【春まつり】 花の広場では、約100万本の春の花が楽しめます。</p>	<p><b>夏</b></p>  <p>【カプトムシドーム公開】 いこいの森カプトムシドームの中で、沢山のカプトムシと触れ合えます。</p>
<p><b>秋</b></p>  <p>【秋まつり】 花の広場のメインエリアでは、約150万本の様々な品種のコスモスが楽しめます。</p>	<p><b>冬</b></p>  <p>【ウィンターイルミネーション】 冬の夜空を、イルミネーションの光があたたく包み込みます。</p>

#### ② 積極的な広報展開

四季を通じた多彩なイベントの開催時においては、マスメディアへのタイムリーな情報発信や、チラシ、ポスター、リーフレットの配置・配付を行うとともに、地元自治体や他の観光施設と連携した広報活動を実施します。また、ホームページ等にも掲載し、積極的な広報を実施します。



【大和ミュージアムにおけるポスターの展示】



【「神話博しまね」における庄原市と連携したPR活動】

**なお、管理運営の実施にあたっては、引き続き利用者の安全確保、サービス向上を図りながら、コストの縮減に努めます。**

## 4. 事業効果

管理運営方針に基づいた管理運営を実施することで、公園利用者に、緑豊かな自然の中で、スポーツや花の鑑賞等の多様なレクリエーション活動に取り組む環境や、地域の歴史・伝統文化とふれあう機会を提供できるほか、以下の効果が期待されます。

### ① 中国地方の豊かな歴史や伝統文化の保存・継承

- ・ 中国山地でかつて行われていた古代たたら鉄づくりの再現や古代米づくり、往時の農家の生活などの実演や体験プログラムの充実により、中国地方の特徴である里山環境ではぐくまれた歴史・伝統文化の保存・継承を図ることができま

す。

### ② 自然環境の保全・活用・循環型社会の構築の推進

- ・ 里山の多様な自然環境の保全、活用の取り組みを推進することで、貴重な生物種の保全を図ることができます。
- ・ 公園内で発生したせん定枝や除草した草をチップ化、堆肥化して再利用する取り組みを行い、循環型社会の構築に寄与します。

### ③ 連携による広域観光の推進、地域の活性化

- ・ 中国地方のレクリエーション拠点として、観光情報の発信や企画展示を行うなど、中国地方の多様な観光資源を公園の利用者に発信するとともに、中国横断自動車道「尾道松江線」の開通を踏まえた効果的な広報を実施することで、広域観光に寄与します。
- ・ 庄原市、地元団体、NPOや民間企業など、地域との連携による交流イベントの開催等により、地域の活性化を図ることができます。

### ④ 地域の担い手の養成

- ・ 多様な主体が公園づくりに参加できる取り組みを充実することで、参加型の公園管理の仕組みづくりを進めることにより、地域づくりに主体的に取り組む担い手の養成に貢献します。

### ⑤ 安全で安心な公園づくり

- ・ 巡視・点検を適切に行い、安全管理の徹底を図ることで、利用者が安全かつ安心して利用できる公園となります。
- ・ 公園施設を対象とした公園施設長寿命化計画を策定し、計画的かつ効果的な施設の補修・更新を実施することにより、ライフサイクルコストの縮減を図ることができます。
- ・ 地震等の災害発生時、来園者及び周辺住民の方を受け入れる庄原市の一時避難場所として活用することにより、地域の防災性向上に寄与します。

**本プログラムは、公園へのニーズ等を的確に踏まえ、適宜見直しを行っていきます。**